

## 事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	100%			<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動スペース、勉強スペース、プレイスペースを分けてプログラムを実施できるよう環境を整備します。</li> <li>・今後もお客様の特性に合わせて随時配慮させて頂きます</li> </ul>
	②	職員の配置数は適切であるか	60%	40%		<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年より小集団個別指導に切り替えまして、一人一人のお客様に十分な人員配置ができるようになりました。</li> <li>・外部研修に参加し、内部研修を重ね職員全体の専門性をこれからも高めてまいります</li> </ul>
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	40%	40%	20%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在、肢体不自由児に関しては制度上の申請をしておらず、受け入れをしていません。今後受け入れを検討する際は施設の環境整備を進めてまいります。</li> </ul>
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	80%	20%		<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日ミーティングを行い、トム・ソーヤの理念を職員全員で共有し、業務改善をスピーディに行える環境を作っています。（例：個別小集団指導導入、イベント反省会、業務見直し等）</li> <li>・今後は社内SNSを活用し情報発信、共有を進めてまいります。</li> </ul>
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100%			<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケート調査を実施し、ミーティングの中で対応を検討し全ての項目についてご説明と改善目標を設置しました。</li> </ul>
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	80%	20%		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページにて公表いたします。</li> </ul>
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	60%	40%		<ul style="list-style-type: none"> <li>・イベントの際に関係機関様にアンケートをお書き頂きましたが、必要と判断した際は定期的にアンケート評価をお願いする体制を取ります。</li> </ul>
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	80%	20%		<ul style="list-style-type: none"> <li>・感覚統合や認知機能等、支援に必要な先端プログラムの研修機会を設けております。</li> <li>・また外部研修にも参加し、研修で得たことを内部研修で共有しています。</li> </ul>
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%			<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知機能に関しては脳機能バランサーというアセスメントツールを用いて客観的分析に用いていますが、他の分野については客観的指標が用いられないケースもあるので、他分野に関してもアセスメントツールを用いることを検討します。</li> </ul>
適切な 支援の 提供	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	100%			<ul style="list-style-type: none"> <li>・適応行動を測るためのアセスメントツールは用いてはみましたが、今後は児童の状況によって社会適合を客観的に把握するためにアセスメントツールを導入します。</li> </ul>
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	80%	20%		<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動プログラムはチームで検討し、個別支援計画や個別の状態を鑑みて決定しております。</li> <li>・今後はチームでよりよい結論を導くためチームでの話し合いの方法（チームビルディング）を変えていきます。</li> </ul>
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	100%			<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在トム・ソーヤでは同じ課題であっても種類の異なる複数のプログラムを用意しております。お客様の好みや、認知レベル、やる気に応じてプログラムを変えています。今後はお客様が飽きずに楽しめるプログラムを開発・提供したいと思います。</li> </ul>
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	100%			<ul style="list-style-type: none"> <li>・週間単位でプログラムのバランスを取るよう工夫しています。お客様の課題が複数に分かれている場合は一回の支援でその全ての課題に対応するのはほぼできません。ですので、今回はこの課題で次回は別の課題にするという形で週間単位で課題を網羅する工夫をしています。</li> </ul>
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%			<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年よりも個別小集団指導に切り替え、適時、集団指導にも個別指導にも切り替えられる仕組みにしました</li> </ul>
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100%			<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援前にはミーティングを行い必要な打ち合わせを行っています。</li> </ul>
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	60%	40%		<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援終了後には各自の作業に移るため、ミーティングは行なっていませんが日報や指導員内で共有する情報欄にてお客様の状態を記し翌日のミーティングにおいて話し合う仕組みをとっています。</li> </ul>
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100%			<ul style="list-style-type: none"> <li>・記録を取ることは毎日行なっておりますが、記述の方式については検討が必要だと思っております。今後次回の支援改善につなげられるように看護記録の方式であるSOAP方式を検討しています。</li> </ul>

	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	100%			・モニタリングを行なっていますが、客観的指標に基づいたアセスメントの必要性を感じておりますので、モニタリング時にアセスメントツールの導入を検討しております。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	100%			・ガイドラインに記載されている個別支援計画に基づいた活動と、余暇の提供にあたる子供個人の好きなこと（ケア）、イベント等を組み合わせさせて支援しています。
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	80%	20%		・当事業所の常勤で相談支援員に当たるものか、サービス管理責任者が参加しています。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	80%	20%		・現在までのところ約7校の学校の先生に事業所の見学に来ていただいたり、実際にプログラムに参加していただいたり、プログラム内容の紹介や各児童の対応等の交流を行なっていました。 ・今後は年間スケジュールの交換や指導方針等の共有を行なっていきたいと思っております。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	80%		20%	・ケース会議の時などに医師の立ち合いのもと相談を進めてまいりました。 ・今後医療的ケアが必要なお子様がいる場合は担当医師や関係医療従事者と連携をとってまいります。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	80%		20%	・関係事業所と連絡を取り合っていました。今後は児童の情報共有を行い「児童が安心していられる場所」が事業所以外にもできるような働きかけをしたいと思っております。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供するなどしているか	80%		20%	・事業所を離れ他事業所にうつる場合は申し送りを行なっております。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	80%		20%	・専門機関の研修に参加し、研修内容を事業所で共有しておりますが、その内容がより定着するためには別途研修プログラムが必要だと感じておりますので、現在研修プログラムを新しく作成中です。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	40%	60%		・併設されています、S&Sセミナーの児童とのゲームを通じたお楽しみ会等（ウボンゴ3D大会等）を検討しています。もちろん強制参加ではなく、お子様、ご家族の希望に応じる形で進めたいと思っております。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	60%	20%	20%	・今後そのような機会があれば積極的に参加します。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	60%	40%		・送迎のタイミングや、保護者面談等で対応してまいりましたが、今後はホームページ、ブログ等も設置して、更に情報にアクセスしやすい環境を整備してまいります。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	60%		40%	・保護者の方が参加できる研修会を開いたり、ペアレントトレーニングも今後実施に向けて検討しています。
保護者への説明責任等	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	80%	20%		・面談、ホームページ等で周知努力をしております。更にトム・ソーヤ通信等を通じてきめ細かくご説明したいと思っております。
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	60%	40%		・保護者面談等で対応してまいりましたが、今後はホームページ、ブログ等で家庭でも役立つエクササイズや関わり方豆知識等を紹介してまいりたいと思っております。また「親業」「感覚統合」等ご紹介できるプログラムもございますので準備が整い次第、保護者も参加できる研修会を開きたいと思っております。
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	60%	20%	20%	・今後「親業」「感覚統合」「コーチング」等保護者の方々にご提供したいプログラムがございますので、準備が整い次第、父母会を開催させて頂きたいと思っております。 ・またお子様を含めたご家族で楽しめるイベントも企画しております。

	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	80%	20%		<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後ホームページをリニューアルし、web上でもチャット、メールを通じてご意見を受付できる体制を整えてまいります。</li> </ul>
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	80%	20%		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページをリニューアルしブログ、チャット機能、メール、SNSも含めた情報発信を行いたいと思います。</li> <li>・お子様用に作ったアンケートも別途実施したいと思います。</li> </ul>
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	80%	20%		<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人情報保護に関するマニュアルを制作し、スタッフへの研修、周知を徹底いたします。</li> </ul>
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	60%	40%		<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年より小集団個別指導に切り替えまして、お子様一人一人とじっくりとお話ができる時間を作ることができつつあります。このような時間を通じて随時お子様及び保護者様とコミュニケーションをとっていききたいと思います。</li> </ul>
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	60%	20%	20%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クリスマスイベントの際には関係事業所を招いて行いました。今後もそのような機会を増やしていきたいと思います。</li> </ul>
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	60%	40%		<ul style="list-style-type: none"> <li>・監視カメラを設置。自動点灯設置。紙タオル使用等。</li> <li>・緊急時対応、防災防犯、感染症対応マニュアルを作成し、近日ホームページ上にトム・ソーヤでの対策を掲載したいを思います。</li> </ul>
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	80%	20%		<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難訓練を行なっておりますが、周知を徹底したいと思います</li> <li>・生徒への形式的でない訓練実施計画をたてます。(避難訓練週間を作りその週は避難訓練に特化したプログラムにする)</li> </ul>
	④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	60%	40%		<ul style="list-style-type: none"> <li>・虐待に関する研修や虐待防止マニュアルは職員に配布しております。監視カメラも設置しております。</li> </ul>
	④②	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	60%	20%	20%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身体拘束についてのプロセスはマニュアルに記載されており、研修も行いましたが、定期的により深めるための児童への対応研修を行なっております。</li> </ul>
	④③	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	60%	40%		<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在事業所では食品を提供していませんが、アレルギー体質のある児童については情報を共有し事故が起こらないよう配慮します。</li> </ul>
	④④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	80%	20%		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヒヤリハット用紙は準備済みで、書き込みの促しもミーティング等で行いました。今後事例が多くなりましたら事例集を作成します。</li> </ul>